

奈良県肝炎ウイルス検査受診率向上事業について

<目的>

肝炎ウイルスは感染の自覚がないまま慢性肝炎から肝がんへ進行していく恐れがあるため、早期に専門医療機関を受診し、継続的な検査や治療を行うことが必要である。そのためには、まず肝炎ウイルス検査を受けることが重要であるが、平成 26 年度～平成 28 年度の県の受検率(健康増進事業(市町村)+特定感染症検査事業(県・保健所))は全国最下位となっている。(資料3-2～3-4)

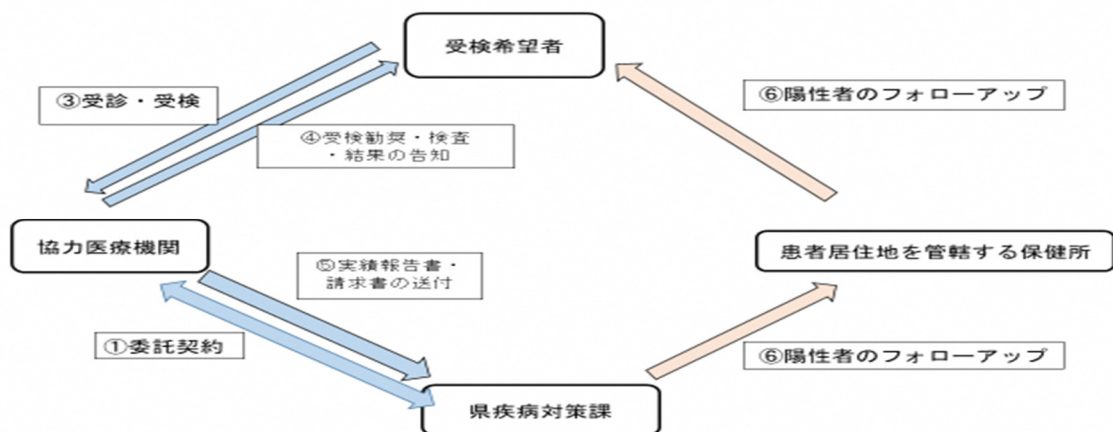
保健所における検査機会が少ないことが考えられるため、平成 30 年度より医療機関での受検体制を強化し受診率向上をはかる。

<対象者>

医療機関においてB型・C型肝炎ウイルス検査を希望する奈良県在住の者(奈良市除く)
(過去に本検査を受けたことがある者は対象外とする)

<方法>

- ① 受託して検査を実施することを希望する奈良県内の医療機関(奈良市を除く)
- ② 対象経費、単価:ウイルス検査に要する経費、一人あたり 4,500 円
- ③ 30 年度より受診票を医療機関に配備し他疾患受療中の患者に医師が受検勧奨するなどして実施
(H28・29 年度は受検を希望する人が保健所へ申し込み、保健所で受診券を発行する方法)



<実績>

・H30 年度肝炎ウイルス検査実績

保健医療圏	配布医療機関数	実績あり	実績なし	実施率(%)
東和	20	5	15	25.0
西和	37	18	19	48.6
中和	46	21	25	45.7
南和	8	2	6	25.0
合計	111	46	65	41.4

・肝炎ウイルス検査受検者数

	H30年度
肝炎ウイルス検査受検者数	201

●令和元年度の取り組み(資料3-3参照)

- ・平成 30 年度に実績のあった医療機関へ1 医療機関あたり 10～30 枚程度配備
- ・100%実施を目指す。